

神戸市立室内小学校 学校評価報告書

校園長名

牛留 章博

記入者名 松下 明申

り学の校目づく	人としての誇りをもち たくましく生き抜く子供を育てる					
内容	重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案	
育 て たい 子 供 の 姿	人としての誇りをもち たくましく生き抜く子供を育てる					
	自信をもって行動できる子	・金管バンド ・基礎学力の向上	3	全校を挙げて6年生の金管バンド活動に関わった。研修等を通じ、子供たちの学力向上を図った。	学校行事や地域行事で6年生の素晴らしい演奏を見ることができ、感動した。	引き続き、金管バンド活動で子供たちが自尊感情を高められるように、支援していく。
	仲間とともに歩む子	・進んであいさつ ・学年・校種をこえた活動	3	自分からあいさつできる子供が増えた。夢野台高校・丸山中学校と交流できた。	自分からあいさつできる子供が増えていると感じる。	気持ちの良いあいさつをきっかけとして、友達と望ましいコミュニケーションがとれるようにする。
	健全な心と体を養う子	・元気に登校し、課題に進んで挑戦する機会を設ける。	4	帯時間等を活用し、シーズン制で様々なスポーツ活動を実施した。	元気に登校する姿が見られる。遅刻する子供が気になる。	望ましい生活習慣の定着をはかり、子供の心身の健康を保つようにする。
全 市 的 に 推 進 す べ き こ と	①いじめ防止対策に関する取組み	・いじめアンケートの確実な実施 ・いじめの未然防止・早期発見を意識し、日頃から教職員間で情報を共有する。	3	いじめが疑われる事案が発生した際には、必ず複数の教職員で共有し、対応した。	引き続き、しっかり対策してほしい。	いじめの未然防止と早期発見・早期対応を心がけていく。
	②不登校支援の取組み	・日々の授業を工夫し、学校の魅力を高める。 ・遅刻・欠席が多い家庭と積極的に連携する。	3	登校しにくい児童が複数いるが、保護者を含め、かかわりをていねいに続けた。	引き続き、ていねいに対応してほしい。	魅力ある学校づくりを続けるとともに、サポートルームを整備し、子供の居場所をつくる。
	③教職員の業務改善	・出勤時に、その日の退勤時間を表示し、終業を意識するようにした。	3	業務について、やめるもの、縮小するもの、形を変えるもの等見つけ直しを行った。教職員の退勤時刻が早まった。	先生たちの業務改善もわかるが、子供たちの学力等は大丈夫か。	「持続可能」をキーワードに、教員が元気に働くことができる環境づくりを続けるとともに、学力保証にも引き続き力を入れていく。
	④「すぐる」の活用、ホームページにおける情報発信	・行事や日々の連絡について、可能な範囲で紙媒体から電子媒体に移行する。	3	すぐる・HPを活用することで、保護者へのリマインドや周知を行えた。	すぐるによる連絡が便利でよいが、紙が欲しいときもある。	保護者や地域に対し、適宜適切に情報発信していく。
	⑤学校生活のルールや決まり(校則など)について	・子供同士が話し合った内容も考慮してきまりを見直していく。	4	子供や保護者、地域住民からの意見を受けて職員会で検討し、きまりを見直した。	時代に合わせて、変えるべきところは変えてよいと思う。	子供や保護者、地域の意見を聞きながら、見直しを続けていく。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある